

FD NEWS LETTER

自己点検・評価実施委員会

No.14

FD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称です。本学では、授業アンケート、FD講演会など、各種FD活動を実施しています。

今回は、2023年度活動実施内容等についてお届けします。

『FDニュースレター』は、年次報告として、FDに関する情報を取り纏め、情報を共有することにより、それぞれの活動を組織的な活動へと発展させるための一助として発行しています。

2023年度 活動計画

FD講演会等の実施

（※組織的なFDとするために、各種委員会と協働して開催）

☆春学期は2023年7月15日（土）に全学FD講演会を開催しました。秋学期にも以下の取り組みを計画しています。

☆全学FD講演会秋学期（詳細については今後周知）

☆大学院FD講演会（詳細については今後周知）

ティーチング・ポートフォリオ導入

☆今年度から専任教員を対象にティーチング・ポートフォリオ（TP）を導入しました。昨年度のFD講演会で体験したTPチャート作成を参考にして、まずは任意参加から取り組みます。

大学教育学会への参加

☆大学教育学会大会（6月）及び課題研究集会（11月）への参加者の募集を今年度も行います。開催後、参加教員による報告会を行います。

各種FD活動の報告

☆教員間で実施される、基礎ゼミ・語学会議・学科会議等の中で行われるFD活動及び教育改革に関するプロジェクトについて支援を行うとともに、実施後に提出される報告書を取りまとめ全学的に情報を共有しています。

公開授業

☆例年同様、公開授業を実施する予定です。複数コマ開講されている同一科目について、その担当教員間の相互授業参観のあと、授業運営手法や評価方法のすり合わせなどを実施します。

学生による授業アンケート(Web形式)

☆今年度も各学期末に実施します。学生による授業アンケートでは、科目毎の選択質問項目の集計結果（詳細）を『学生による授業アンケート結果』（冊子）にまとめており、図書館で閲覧することができます。また各教員にアンケート結果をフィードバックし、各自の所見・改善点等を記入するコメントシートを作成しています。

新規採用教員説明会

☆新任教員に対し、本学の建学の理念や教育研究に対する考え方、ディプロマポリシーの説明など、本学の教員として必要な事柄等に関する説明会を毎年度4月に実施しています。

FD講演会

2023年7月15日（土）に春学期FD講演会を開催しました。（オンラインと会場での対面の併用開催）
当日は、教員64名・事務職員4名が参加しました。

- | | |
|--|---------------------|
| ①大学教育学会第45回大会参加報告 | 五月女 肇志 教授 |
| ②2022年度教育改革プロジェクト採択事例の取組結果報告
『「近代文学研究入門」に関する教科書活用による授業改善の取組』 | 山口 直孝 教授 |
| 『AWSを利用した教育環境整備、マニュアル作成及び集中講座の実施』／
『Raspberry Piを用いた実践的情報・IoT 教育実施環境の整備と実施』 | 今井 悠人 専任講師 |
| ③ハラスメント防止について | 瀧田 浩 ハラスメント防止委員会委員長 |
| ④学生の実態・満足度調査の結果分析について | IR推進室 |
| ⑤科研費の応募について | 大学改革推進課 |

【春学期FD講演会を終えて】

講演会後にGoogle Formで受け付けた意見・感想の中からいくつかを紹介します。

- ・高大接続で、大学の側がその内容を積極的に考えるべきという意見があることが参考になった。
- ・古典文学でも教科書発行を予定しているので参考になった。
- ・学生に自ら創造させる授業を面白く思った。
- ・ハラスメント防止の啓発は教員、学生すべてにとって意味があると思った。

2022年度 学生による授業アンケートについて

2022年度秋学期に行った「学生による授業アンケート」結果に対する授業担当者のコメントシートから授業改善への取り組み事例を抽出して、大学全体レベルでの授業改善の取り組みとして共有しました。
アンケート結果のフィードバックは学生からのコメントに教員も手応えを感じたり、改善点を見出したり、学生の学修成果や意欲を向上させるヒントを得られる重要な機会となっています。
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、回答用紙形式からweb回答形式に変更した2020年度以降低下していた回答率も、今回から回復してきています。

2023年度は、この授業アンケートが学生自身の学修の振り返りとして、またこれからの授業をより良いものにするため重要であることを、実施に際してあらためて学生に説明して理解を促し、更なる回答率向上を図ることとしています。以下、授業担当者のコメントシートから一部をご紹介します。

2022年度秋学期に実施した授業アンケートにおいて、教員からのコメントシート提出数（回収率）は、専任教員：33名（47.1%）、非常勤教員：78名（46.7%）でした。

授業に使用する資料を、書き込めるようにして、常に授業を聞いていないと書けないようになっている。その資料を、試験の時に持ち込めるので、自分の努力も反映される。

1年生には易しい教材をと考えたり、あるいは本格的な研究は避けてと考えたりすることが、かえって授業をつまらなくさせているのかもしれない。むしろ、少し難しくても、優れた本格的な研究に、丁寧な解説を加えながら早期に触れさせたほうが良いのではないかと思った。

ある一つの現在進行形の国際的ニュースを、授業の回ごとのテーマと関連づけて紹介・解説し、授業内容に具体性を持たせるようにしました。継続して一つのニュースを取り上げ続けることで、授業で扱っていることが実社会の現実の問題なのだとすることを、学生も強く感じられたようでした。



二松學舎大學

2023年7月31日発行
【お問い合わせ先】 二松学舎大学 大学改革推進課
TEL: (03)3261-1285
FAX: (03)3261-7413
E-mail: gakumu@nishogakusha-u.ac.jp